

- 問1 大化の改新を中心となって進めた中大兄皇子は、後に天智天皇として即位し、国内の統治をより強固にするための政策を行いました。その一環として、670年に日本で初めて全国規模で作成された戸籍の名称を選びなさい。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 大宝律令 2. 班田収授法 3. 庚寅年籍 4. 庚午年籍
- 問2 古代の日本において、唐の制度を参考に「律令」が制定された主な目的として、最も適切な説明はどれですか。当時の地方行政の状況を伝える多胡碑などの記録を踏まえて考えなさい。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 仏教の教えを広めることで、人々の不満を抑えて社会の安定を図るため 2. 天皇を頂点とし、法に基づいた行政区画の整備を通じて中央集権的な統治を行うため 3. 外国との貿易を促進するために、港を中心とした新しい都市を建設するため 4. 武士の勢力を抑えるために、有力な貴族に地方の土地を自由に管理させるため
- 問3 聖徳太子が「冠位十二階」を制定した最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用するため 2. 氏姓制度を強化し、代々特定の家系が役職を独占できるようにするため 3. 全国の土地と人民を直接支配する公地公民の制を確立するため 4. 仏教を国家の宗教として定め、僧侶に政治を管理させるため
- 問4 607年に小野妹子が隋に派遣された際、持参した国書には「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや」という趣旨の一文がありました。このような外交姿勢をとった背景にある、当時の日本（倭国）の目的として適切なものを選びなさい。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 中国の領土の一部を譲り受ける代わりに、日本の特産品を朝貢品として献上すること 2. 中国と対等な立場での外交関係を築きつつ、高度な政治制度や文化を取り入れること 3. 中国の皇帝に軍事的な従属を誓うことで、朝鮮半島への出兵を支援してもらうこと 4. 中国に対して臣下としての礼を尽くし、国王としての称号と金印を授かること
- 問5 645年に始まった政治改革の資料において、中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我氏を打倒し、新たな政治体制を築こうとする記述が見られます。この一連の改革によって日本で初めて元号が導入された背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 有力な豪族たちが交代で元号を決める権利を持つことで、貴族政治の安定を図るため。 2. 天皇が国の主権者として時間を支配することを示し、中央集権国家の威信を内外に宣言するため。 3. 中国の唐に対して完全な服従を誓い、唐と同じ元号を使用することで安全保障を得るため。 4. 蘇我氏が代々使用してきた独自の暦を廃止し、仏教の教えに基づいた新しい時間管理を行うため。
- 問6 聖徳太子が定めた規範の中で、仏教を篤く敬うこと（三宝を敬うこと）と、天皇の命令への絶対服従を並べて記した政治的な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
1. 仏教を日本の国教として定めることで、大陸の隋や唐と同じような宗教国家を作り、外国からの侵略を防ぐため 2. 律令に基づいた厳しい刑罰を導入する前に、仏教の教えによって人々の心を安定させ、犯罪を減らすため 3. 仏教を深く信仰していた蘇我氏の独走を抑えるために、天皇の命令が宗教的な教えよりも優先されることを示すため 4. 仏教による道徳心と天皇への忠誠心を結びつけることで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心とした国づくりを進めるため
- 問7 聖徳太子が行った政治改革のうち、「詔（天皇の命令）を承けては必ず謹め」といった記述が含まれ、仏教を敬うことや官吏（役人）が守るべき道徳を示したものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 冠位十二階 2. 五箇条の御誓文 3. 十七条の憲法 4. 大宝律令
- 問8 7世紀後半から8世紀にかけて、日本が中国の隋や唐の国家体制を手本として編纂し、それに基づいて政治を行った基本的な法典の総称は何ですか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 分国法 2. 公事 3. 御成敗式目 4. 律令
- 問9 7世紀後半、朝鮮半島での「白村江の戦い」において唐・新羅の連合軍に大敗した倭（日本）は、大陸からの侵攻に備えて国防を強化しました。この時、西日本の各地に山城を築き、九州の沿岸に「防人」を配置した人物は誰ですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. 白河上皇 2. 聖武天皇 3. 足利義満 4. 中大兄皇子
- 問10 推古天皇の摂政として、才能や功績に応じて位を与える冠位十二階の制度や、役人の心構えを示す十七条の憲法を定めた人物は誰か。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 聖徳太子 2. 天智天皇 3. 天武天皇 4. 中臣鎌足
- 問11 聖徳太子が定めた十七条の憲法の第一条には、「和をもって貴しとなす」という言葉が記されています。この言葉をあえて第一条に掲げ、役人の心得として強調した当時の政治的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 身分制度を厳格にし、農民が領主に対して反抗することを防ぐため 2. 武士が土地を巡って争うことを禁止し、幕府による全国支配を確実にするため 3. 外国の思想を排除し、日本独自の伝統的な神道を国家の柱とするため 4. 有力な豪族同士の対立を抑え、天皇を中心とした国家体制を構築しようとしたため
- 問12 日本の古代史に関する略年表を作成した際、663年の出来事として「倭の軍が、白村江の戦いで、唐と【 】の連合軍に敗れる」と記述する場合、空欄に当てはまる国名として適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. 高句麗 2. 新羅 3. 高麗 4. 百濟
- 問13 大宝律令のもとでの人々の負担について記した資料によると、口分田を与えられた農民には、収穫した稲の約3%を納める「租」のほかに、布や特産品を納める負担や、九州の北海岸を警備する「防人」などの兵役が課されていました。このような制度が整えられた主な目的として、最も適切なものはどれか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
1. 土地を所有する権利を証明する「地券」を発行し、税制を金納に統一して財政を安定させるため。 2. 公地公民の原則に基づき、国家が土地と人民を直接支配して税収や軍事力を確保するため。 3. 地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡すことで、農村の貧富の差を解消するため。 4. 有力な農民に土地の私有を認めることで、地方の開墾を促進し、農業生産力を高めるため。
- 問14 7世紀中ごろ、唐が朝鮮半島北部の高句麗を攻撃したことにより、東アジアでは国際的な緊張が極限まで高まりました。このような外部からの脅威に対抗するため、日本（倭）において天皇中心の中央集権国家体制を整えようとして行われた一連の政治改革はどれですか。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
1. 明治維新 2. 十七条の憲法の制定 3. 公事方御定書の制定 4. 大化の改新

答え合わせ・解説

問1	答え 4 庚午年籍	中大兄皇子（天智天皇）は、公地公民の原則に基づき、民衆を直接支配するために日本初の全国的な戸籍である庚午年籍を作成しました。これにより、それまで氏族ごとに管理されていた民衆を国家が把握できるようになり、税の徴収や徴兵の基礎が作られました。これに続く持統天皇の時代の庚寅年籍によって、戸籍制度はさらに定着することになります。
問2	答え 2 天皇を頂点とし、法に基づいた行政区画の整備を通じて中央集権的な統治を行うため	律令の整備は、それまでの豪族による土地・人民の支配を改め、天皇を中心とする国家が全国を直接支配すること（中央集権化）を目的としていました。多胡碑に記された「郡」の設置も、この法律に基づいて全国を組織的に管理しようとする政策の一環です。これにより、税の徴収や徴兵などが組織的に行えるようになりました。
問3	答え 1 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用するため	それまでは家柄によって政治的な地位が決まる氏姓制度が中心でしたが、聖徳太子は個人の能力や手柄に応じて12段階の冠位を授ける制度を導入しました。これにより、天皇に忠実で有能な人材を政治の中枢に集め、中央集権的な国家体制を強化しようと試みました。
問4	答え 2 中国と対等な立場での外交関係を築きつつ、高度な政治制度や文化を取り入れること	聖徳太子は、当時の中国の皇帝（煬帝）に対して対等な立場で国書を送りました。これは、これまでの中国に従う形式の外交ではなく、日本が独立した国家であることを示しながら、最新の政治体制（律令など）や仏教を主体的に学び、国内の権威を高める狙いがありました。この姿勢は隋側を驚かせましたが、当時の東アジア情勢も影響し、交流は継続されました。
問5	答え 2 天皇が国の主権者として時間を支配することを示し、中央集権国家の威信を内外に宣言するため。	元号の制定は、単なる年数の数え方の変更ではなく、その土地を支配する君主が時間をも支配するという「空間と時間の主権」を象徴する行為でした。大化の改新において中大兄皇子らが日本初の元号「大化」を定めたのは、それまで力を持っていた蘇我氏などの有力豪族を抑え、天皇を中心とした律令国家を形成しようとする強い政治的意志の表れです。
問6	答え 4 仏教による道德心と天皇への忠誠心を結びつけることで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心とした国づくりを進めるため	当時の日本は豪族同士の勢力争いが激しく、国家としてのまとまりに欠けていました。聖徳太子は、仏教という普遍的な教えを敬うことで個人の道德観を養わせると同時に、天皇を国全体の最高権威として位置づけることで、私利私欲に走る豪族たちを統制し、天皇中心の中央集権体制の基礎を築こうとしました。
問7	答え 3 十七条の憲法	604年に制定された十七条の憲法は、日本最初の成文法としての性格を持ちますが、現代の法律とは異なり、役人が政治を行う上での「心得」を説いたものです。同じく聖徳太子の政策である冠位十二階は「個人の才能を評価する制度」であり、この憲法とあわせて天皇中心の政治を支える基盤となりました。
問8	答え 4 律令	刑罰を定めた「律」と、政治の仕組みや行政上の規定を定めた「令」からなる法体系です。中国の高度な統治システムを導入することで、天皇を中心とした組織的な国家運営（律令国家）を目指しました。中世に定められた「分国法」や江戸時代の「公事方御定書」などとは、成立時期や性格が異なります。
問9	答え 4 中大兄皇子	663年の白村江の戦いで敗北した後、中大兄皇子は唐や新羅による日本本土への侵攻を強く警戒しました。そのため、大宰府を防御するための「水城」や西日本各地の「山城」を築くとともに、東国から集めた農民を「防人」として九州北部の警備にあたらせました。彼は後に天智天皇として即位し、近江大津宮へと遷都しました。
問10	答え 1 聖徳太子	推古天皇の協力者として、天皇中心の国づくりを進めたのは聖徳太子である。中臣鎌足は中大兄皇子とともに大化の改新を行い、天武天皇は壬申の乱の後に即位して律令国家の建設を進めた人物であるため誤り。
問11	答え 4 有力な豪族同士の対立を抑え、天皇を中心とした国家体制を構築しようとしたため	古墳時代から飛鳥時代にかけては、蘇我氏と物部氏の対立に代表されるように、有力な豪族が勢力争いを繰り返していました。聖徳太子は、官僚としての道德規範を示すことで豪族たちをまとめ上げ、天皇の命令に従う官僚機構を作り上げることを目的としていました。
問12	答え 2 新羅	7世紀の朝鮮半島では高句麗、百済、新羅の三国が争っていました。新羅は中国の唐と連合し、660年に百済を滅ぼしました。日本（倭）は百済の復興を支援するために軍を送りましたが、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗しました。その後、新羅は高句麗も滅ぼし、唐の勢力も退けて朝鮮半島を統一しました。選択肢にある高麗は、新羅の後に朝鮮半島を統一した10世紀の王朝であり、誤りです。
問13	答え 2 公地公民の原則に基づき、国家が土地と人民を直接支配して税収や軍勢力を確保するため。	律令国家は、土地と人民はすべて天皇（国家）のものであるという「公地公民」の思想を基本としていました。班田収授法によって人々に口分田を配分する見返りとして、租・調・庸といった税や兵役などの重い義務を課し、中央集権的な国家体制の財政と防衛を支えようとした。
問14	答え 4 大化の改新	唐が高句麗に侵攻し、朝鮮半島情勢が不安定になったことは、日本にとって国防上の大きな脅威となりました。この危機を乗り越えるため、中大兄皇子と中臣鎌足らは蘇我氏を打倒し、天皇を頂点とした強力な国家体制を築く「大化の改新」を断行しました。十七条の憲法はそれ以前の推古天皇の時代に制定されたものです。